

令和 2 年度 病院事業決算状況

都道府県名 長崎県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
長崎市	長崎みなとメディカルセンター	2
佐世保市	地方独立行政法人 佐世保市 総合医療センター	3
佐世保市	地方独立行政法人 北松中央 病院	4
大村市	市立大村市民病院	5
平戸市	国民健康保険平戸市民病院	6
平戸市	平戸市立生月病院	7
雲仙・南島原保健組合（ 事業会計分）	公立新小浜病院	8
長崎県病院企業団	五島中央病院	9
長崎県病院企業団	富江病院	10
長崎県病院企業団	上五島病院	11
長崎県病院企業団	上対馬病院	12
長崎県病院企業団	精神医療センター	13
長崎県病院企業団	島原病院	14
長崎県病院企業団	壱岐病院	15
長崎県病院企業団	対馬病院	16

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		長崎県	
市町村・組合名	長崎市		
病院名	長崎みなとメディカルセンター		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	409,118	
決算規模(千円)	275,410,157	
標準財政規模(千円)	100,200,608	
財政力指数	0.59	
経常収支比率(%)	97.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.2
	将来負担比率(%)	91.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収	全国平均	類似平均
総収益	32,741			
1 経常収益	32,741			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	32,741			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	32,741			
2 経常費用	32,741			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	55.8
材料費	-	-	25.3	29.8
(うち薬品費)	-	-	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	13.0
減価償却費	-	-	9.5	8.7
経費	-	-	22.7	19.7
(うち委託料)	-	-	12.6	12.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	32,741			
(うち支払利息)	32,741	-	1.3	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	102.5
医業収支比率	-		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	93.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		長崎県	
市町村・組合名	佐世保市		
病院名	地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	243,223	
決算規模(千円)	151,357,527	
標準財政規模(千円)	60,375,435	
財政力指数	0.54	
経常収支比率(%)	92.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.3
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収	全国平均	類似平均
総収益	33,696			
1 経常収益	33,696			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	33,696			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	33,696			
2 経常費用	33,696			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	55.8
材料費	-	-	25.3	29.8
(うち薬品費)	-	-	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	13.0
減価償却費	-	-	9.5	8.7
経費	-	-	22.7	19.7
(うち委託料)	-	-	12.6	12.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	33,696			
(うち支払利息)	33,696	-	1.3	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	102.5
医業収支比率	-		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	93.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-

備考:
 当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		長崎県	
市町村・組合名	佐世保市		
病院名	地方独立行政法人 北松中央病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	243,223	
決算規模(千円)	151,357,527	
標準財政規模(千円)	60,375,435	
財政力指数	0.54	
経常収支比率(%)	92.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,631			
1 経常収益	14,631			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	14,631			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,631			
2 経常費用	14,631			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	67.4
材料費	-	-	25.3	17.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	8.8
減価償却費	-	-	9.5	10.7
経費	-	-	22.7	29.2
(うち委託料)	-	-	12.6	13.9
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	14,631			
(うち支払利息)	14,631	-	1.3	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	100.3
医業収支比率	-		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	84.8

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-

備考:
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				長崎県	
市町村・組合名	大村市				
病院名	市立大村市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	16,328 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	22	指定病院の状況	救臨感 輪		
許可公営企業	許可	看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	212	81.5	94.0	93.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	37.6	48.3	29.5
計	216	80.6	93.2	91.9
平均在院日数(一般病床のみ)		20.6	19.8	20.5

設立団体の状況		
人口(人)	95,397	
決算規模(千円)	59,393,290	
標準財政規模(千円)	20,554,238	
財政力指数	0.64	
経常収支比率(%)	99.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.2
	将来負担比率(%)	36.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	499,941			
1 経常収益	499,941			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	499,941			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	57,362			
(うち長期前受金戻入)	442,567			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	763,756			
2 経常費用	763,755			
(1) 医業費用	707,866			
職員給与費	-	-	62.1	66.1
材料費	-	-	25.3	19.8
(うち薬品費)	-	-	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	9.3
減価償却費	705,734	-	9.5	10.2
経費	2,132	-	22.7	28.2
(うち委託料)	-	-	12.6	13.6
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	55,889			
(うち支払利息)	55,889	-	1.3	1.6
(3) 特別損失	1			
損益				
経常損益	-263,814			
純損益	-263,815			
累積欠損金	2,261,469			
経常収支比率	65.5		101.9	99.9
医業収支比率	-		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	11.5		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	11.5		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	57.9		89.3	86.6

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,362,188
1 固定資産	7,321,608
(1) 有形固定資産	6,921,608
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	400,000
2 流動資産	40,580
(1) 現金及び預金	40,003
(2) 未収金及び未収収益	577
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	8,452,919
1 固定負債	6,544,807
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,144,807
(2) その他の企業債	400,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	517,574
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	517,277
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	47
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,390,538
(1) 長期前受金	4,901,987
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,511,449
資本合計	-1,090,731
1 資本金	629,464
2 剰余金	-1,720,195
(1) 資本金剰余金	541,274
(2) 利益剰余金	-2,261,469
負債・資本合計	7,362,188
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	1,090,731
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	32,428	57,362
資本勘定繰入	262,463	781,484
計	294,891	838,846

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	359,717
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				長崎県	
市町村・組合名	平戸市				
病院名	国民健康保険平戸市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	7,703 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	58	79.0	88.7	88.0
療養	29	84.1	82.4	75.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	87	80.7	86.1	82.6
平均在院日数(一般病床のみ)		18.3	17.4	16.5

設立団体の状況		
人口(人)	29,365	
決算規模(千円)	31,297,215	
標準財政規模(千円)	13,102,154	
財政力指数	0.24	
経常収支比率(%)	88.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,655,902			
1 経常収益	1,651,303			
(1) 医業収益	1,234,334			
入院収益	638,324			
外来収益	341,445			
診療収入計	979,769			
その他医業収益	254,565			
(うち他会計負担金)	58,902			
(2) 医業外収益	416,969			
(うち国・都道府県補助金)	142,332			
(うち他会計補助・負担金)	205,042			
(うち長期前受金戻入)	60,532			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4,599			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,536,345			
2 経常費用	1,534,686			
(1) 医業費用	1,456,497			
職員給与費	873,544	70.8	62.1	78.9
材料費	155,388	12.6	25.3	15.6
(うち薬品費)	92,050	7.5	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	63,338	5.1	11.4	6.0
減価償却費	115,337	9.3	9.5	11.7
経費	301,384	24.4	22.7	31.2
(うち委託料)	175,891	14.2	12.6	14.3
研究研修費	648			
資産減耗費	10,196			
(2) 医業外費用	78,189			
(うち支払利息)	22,979	1.9	1.3	1.7
(3) 特別損失	1,659			
損益				
経常損益	116,617			
純損益	119,557			
累積欠損金	-			
経常収支比率	107.6		101.9	100.3
医業収支比率	84.7		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	16.0		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	21.4		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	15.9		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	90.4		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,727,463
1 固定資産	2,617,454
(1) 有形固定資産	2,614,271
(2) 無形固定資産	1,905
(3) 投資その他の資産	1,278
2 流動資産	1,110,009
(1) 現金及び預金	706,002
(2) 未収金及び未収収益	391,646
(3) 貸倒引当金()	6,019
(4) 貯蔵品	18,061
3 繰延資産	-
負債合計	2,411,814
1 固定負債	1,241,517
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	670,850
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	570,667
(7) リース債務	-
2 流動負債	335,176
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	175,745
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	88,210
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	69,477
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	835,121
(1) 長期前受金	1,941,449
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,106,328
資本合計	1,315,649
1 資本金	1,312,560
2 剰余金	3,089
(1) 資本金剰余金	157,887
(2) 利益剰余金	-154,798
負債・資本合計	3,727,463
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	80.7
修正医業収益(千円)	1,175,432

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	263,944	263,944
資本勘定繰入	156,660	156,660
計	420,604	420,604

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	9.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				長崎県	
市町村・組合名	平戸市				
病院名	平戸市立生月病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,066 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	60	62.1	73.1	76.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	62.1	73.1	76.5
平均在院日数(一般病床のみ)		29.7	28.7	27.5

設立団体の状況		
人口(人)	29,365	
決算規模(千円)	31,297,215	
標準財政規模(千円)	13,102,154	
財政力指数	0.24	
経常収支比率(%)	88.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.0
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	65.8
修正医業収益(千円)	453,758

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	677,832			
1 経常収益	677,440			
(1) 医業収益	492,642			
入院収益	291,049			
外来収益	136,674			
診療収入計	427,723			
その他医業収益	64,919			
(うち他会計負担金)	38,884			
(2) 医業外収益	184,798			
(うち国・都道府県補助金)	42,540			
(うち他会計補助・負担金)	110,688			
(うち長期前受金戻入)	28,560			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	392			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	709,894			
2 経常費用	708,964			
(1) 医業費用	689,664			
職員給与費	431,652	87.6	62.1	78.9
材料費	51,269	10.4	25.3	15.6
(うち薬品費)	26,169	5.3	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	25,100	5.1	11.4	6.0
減価償却費	66,058	13.4	9.5	11.7
経費	139,641	28.3	22.7	31.2
(うち委託料)	79,859	16.2	12.6	14.3
研究研修費	482			
資産減耗費	562			
(2) 医業外費用	19,300			
(うち支払利息)	710	0.1	1.3	1.7
(3) 特別損失	930			
損益				
経常損益	-31,524			
純損益	-32,062			
累積欠損金	213,280			
経常収支比率	95.6		101.9	100.3
医業収支比率	71.4		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	22.1		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	30.4		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	22.1		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	74.5		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,727,463
1 固定資産	2,617,454
(1) 有形固定資産	2,614,271
(2) 無形固定資産	1,905
(3) 投資その他の資産	1,278
2 流動資産	1,110,009
(1) 現金及び預金	706,002
(2) 未収金及び未収収益	391,646
(3) 貸倒引当金()	6,019
(4) 貯蔵品	18,061
3 繰延資産	-
負債合計	2,411,814
1 固定負債	1,241,517
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	670,850
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	570,667
(7) リース債務	-
2 流動負債	335,176
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	175,745
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	88,210
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	69,477
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	835,121
(1) 長期前受金	1,941,449
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,106,328
資本合計	1,315,649
1 資本金	1,312,560
2 剰余金	3,089
(1) 資本金剰余金	157,887
(2) 利益剰余金	-154,798
負債・資本合計	3,727,463
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	149,572	149,572
資本勘定繰入	23,140	23,140
計	172,712	172,712

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	9.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				長崎県
市町村・組合名	雲仙・南島原保健組合(事業会計分)			
病院名	公立新小浜病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	7,798 m ²	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	18	指定病院の状況	救 輪	
許可公営企業		看護配置	7:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)	
		類似区分	100床以上~200床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	90	90.9	90.7	89.5
療養	60	93.7	92.7	88.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	92.0	91.5	89.2
平均在院日数(一般病床のみ)		20.2	20.5	17.5

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	425,162			
1 経常収益	425,160			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	425,160			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	316,780			
(うち長期前受金戻入)	95,004			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	469,285			
2 経常費用	469,270			
(1) 医業費用	442,349			
職員給与費	24,508	-	62.1	67.4
材料費	-	-	25.3	17.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	8.8
減価償却費	220,558	-	9.5	10.7
経費	189,961	-	22.7	29.2
(うち委託料)	2,001	-	12.6	13.9
研究研修費	-			
資産減耗費	7,322			
(2) 医業外費用	26,921			
(うち支払利息)	13,186	-	1.3	1.5
(3) 特別損失	15			
損益				
経常損益	-44,110			
純損益	-44,123			
累積欠損金	-			
経常収支比率	90.6		101.9	100.3
医業収支比率	-		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	74.5		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	74.5		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	23.1		89.3	84.8

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,313,562
1 固定資産	4,938,122
(1) 有形固定資産	4,938,030
(2) 無形固定資産	92
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,374,940
(1) 現金及び預金	1,052,013
(2) 未収金及び未収収益	244,137
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	500
負債合計	4,585,152
1 固定負債	2,227,129
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,227,129
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	332,110
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	168,309
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,701
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	161,100
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,025,913
(1) 長期前受金	2,545,381
(2) 長期前受金収益化累計額()	519,468
資本合計	1,728,410
1 資本金	399,681
2 剰余金	1,328,729
(1) 資本金剰余金	1,233,516
(2) 利益剰余金	95,213
負債・資本合計	6,313,562
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	48,504	316,780
資本勘定繰入	87,960	87,960
計	136,464	404,740

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				長崎県	
市町村・組合名	長崎県病院企業団				
病院名	五島中央病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	20,410 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	249	60.7	69.6	63.8
療養	-	-	-	-
結核	10	3.0	1.2	1.1
精神	60	49.4	48.7	50.6
感染症	4	-	-	-
計	323	56.1	62.7	58.6
平均在院日数(一般病床のみ)		15.2	15.3	14.8

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	76.3
修正医業収益(千円)	4,276,182

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,884,907			
1 経常収益	6,631,675			
(1) 医業収益	4,350,467			
入院収益	2,599,282			
外来収益	1,483,586			
診療収入計	4,082,868			
その他医業収益	267,599			
(うち他会計負担金)	74,285			
(2) 医業外収益	2,281,208			
(うち国・都道府県補助金)	908,202			
(うち他会計補助・負担金)	1,041,387			
(うち長期前受金戻入)	286,253			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,253,232			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,046,617			
2 経常費用	5,939,257			
(1) 医業費用	5,606,960			
職員給与費	2,844,952	65.4	62.1	63.5
材料費	1,113,520	25.6	25.3	24.9
(うち薬品費)	572,261	13.2	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	537,643	12.4	11.4	11.8
減価償却費	496,146	11.4	9.5	10.0
経費	955,229	22.0	22.7	21.7
(うち委託料)	562,246	12.9	12.6	12.2
研究研修費	15,026			
資産減耗費	182,087			
(2) 医業外費用	332,297			
(うち支払利息)	93,870	2.2	1.3	1.4
(3) 特別損失	107,360			
損益				
経常損益	692,418			
純損益	1,838,290			
累積欠損金	-			
経常収支比率	111.7		101.9	101.7
医業収支比率	77.6		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	16.8		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	25.6		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	14.1		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	92.9		89.3	90.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	58,462,585
1 固定資産	40,264,037
(1) 有形固定資産	32,671,497
(2) 無形固定資産	561,424
(3) 投資その他の資産	7,031,116
2 流動資産	18,198,548
(1) 現金及び預金	11,999,860
(2) 未収金及び未収収益	6,053,449
(3) 貸倒引当金()	93,316
(4) 貯蔵品	234,658
3 繰延資産	-
負債合計	35,352,226
1 固定負債	21,782,625
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,822,656
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	199,520
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,709,315
(7) リース債務	3,734
2 流動負債	5,584,846
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,983,914
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	37,999
(5) 引当金	930,770
(6) リース債務	2,779
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,261,064
(9) 前受金及び前受収益	2,715
3 繰延収益	7,984,755
(1) 長期前受金	11,658,483
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,673,728
資本合計	23,110,359
1 資本金	9,794,929
2 剰余金	13,315,430
(1) 資本金剰余金	5,368,110
(2) 利益剰余金	7,947,320
負債・資本合計	58,462,585
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	505,388	1,115,672
資本勘定繰入	384,391	394,887
計	889,779	1,510,559

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		長崎県	
市町村・組合名	長崎県病院企業団		
病院名	富江病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	3,092 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	6	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	13:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	55	97.3	95.1	91.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	97.3	95.1	91.3
平均在院日数(一般病床のみ)		34.3	32.8	25.3

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	92.5
修正医業収益(千円)	661,028

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,004,560			
1 経常収益	896,834			
(1) 医業収益	697,322			
入院収益	515,403			
外来収益	116,110			
診療収入計	631,513			
その他医業収益	65,809			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	199,512			
(うち国・都道府県補助金)	43,105			
(うち他会計補助・負担金)	123,970			
(うち長期前受金戻入)	24,612			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	107,726			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	743,644			
2 経常費用	734,229			
(1) 医業費用	714,297			
職員給与費	470,120	67.4	62.1	78.9
材料費	86,746	12.4	25.3	15.6
(うち薬品費)	35,594	5.1	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	37,725	5.4	11.4	6.0
減価償却費	53,742	7.7	9.5	11.7
経費	101,409	14.5	22.7	31.2
(うち委託料)	33,029	4.7	12.6	14.3
研究研修費	1,512			
資産減耗費	768			
(2) 医業外費用	19,932			
(うち支払利息)	118	-	1.3	1.7
(3) 特別損失	9,415			
損益				
経常損益	162,605			
純損益	260,916			
累積欠損金	-			
経常収支比率	122.1		101.9	100.3
医業収支比率	97.6		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	17.9		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	23.0		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	16.0		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	100.3		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	58,462,585
1 固定資産	40,264,037
(1) 有形固定資産	32,671,497
(2) 無形固定資産	561,424
(3) 投資その他の資産	7,031,116
2 流動資産	18,198,548
(1) 現金及び預金	11,999,860
(2) 未収金及び未収収益	6,053,449
(3) 貸倒引当金()	93,316
(4) 貯蔵品	234,658
3 繰延資産	-
負債合計	35,352,226
1 固定負債	21,782,625
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,822,656
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	199,520
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,709,315
(7) リース債務	3,734
2 流動負債	5,584,846
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,983,914
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	37,999
(5) 引当金	930,770
(6) リース債務	2,779
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,261,064
(9) 前受金及び前受収益	2,715
3 繰延収益	7,984,755
(1) 長期前受金	11,658,483
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,673,728
資本合計	23,110,359
1 資本金	9,794,929
2 剰余金	13,315,430
(1) 資本金剰余金	5,368,110
(2) 利益剰余金	7,947,320
負債・資本合計	58,462,585
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	22,758	160,264
資本勘定繰入	14,400	14,400
計	37,158	174,664

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				長崎県	
市町村・組合名	長崎県病院企業団				
病院名	上五島病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	13,954 m ²	不採算地区中核病院	第1種該当		
診療科数	18	指定病院の状況	救臨感へ災		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	132	76.8	81.5	79.0
療養	50	79.9	80.9	72.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	186	76.0	79.6	75.5
平均在院日数(一般病床のみ)		18.6	17.7	17.1

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.0
修正医業収益(千円)	3,883,503

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収	全国平均	類似平均
総収益	5,294,034			
1 経常収益	4,849,837			
(1) 医業収益	3,923,191			
入院収益	2,057,018			
外来収益	1,547,489			
診療収入計	3,604,507			
その他医業収益	318,684			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	926,646			
(うち国・都道府県補助金)	276,161			
(うち他会計補助・負担金)	446,983			
(うち長期前受金戻入)	114,051			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	444,197			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,746,342			
2 経常費用	4,667,671			
(1) 医業費用	4,462,400			
職員給与費	2,573,921	65.6	62.1	67.4
材料費	822,767	21.0	25.3	17.7
(うち薬品費)	335,313	8.5	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	448,988	11.4	11.4	8.8
減価償却費	395,215	10.1	9.5	10.7
経費	612,941	15.6	22.7	29.2
(うち委託料)	147,952	3.8	12.6	13.9
研究研修費	24,195			
資産減耗費	33,361			
(2) 医業外費用	205,271			
(うち支払利息)	1,220	-	1.3	1.5
(3) 特別損失	78,671			
損益				
経常収益比率	103.9		101.9	100.3
医業収支比率	87.9		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	10.0		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	12.4		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	9.2		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	93.5		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	58,462,585
1 固定資産	40,264,037
(1) 有形固定資産	32,671,497
(2) 無形固定資産	561,424
(3) 投資その他の資産	7,031,116
2 流動資産	18,198,548
(1) 現金及び預金	11,999,860
(2) 未収金及び未収収益	6,053,449
(3) 貸倒引当金()	93,316
(4) 貯蔵品	234,658
3 繰延資産	-
負債合計	35,352,226
1 固定負債	21,782,625
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,822,656
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	199,520
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,709,315
(7) リース債務	3,734
2 流動負債	5,584,846
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,983,914
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	37,999
(5) 引当金	930,770
(6) リース債務	2,779
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,261,064
(9) 前受金及び前受収益	2,715
3 繰延収益	7,984,755
(1) 長期前受金	11,658,483
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,673,728
資本合計	23,110,359
1 資本金	9,794,929
2 剰余金	13,315,430
(1) 資本金剰余金	5,368,110
(2) 利益剰余金	7,947,320
負債・資本合計	58,462,585
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	316,348	486,671
資本勘定繰入	79,578	86,429
計	395,926	573,100

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				長崎県	
市町村・組合名	長崎県病院企業団				
病院名	上対馬病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	5,554 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	救へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	60	53.7	58.3	66.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	53.7	58.3	66.7
平均在院日数(一般病床のみ)		20.7	20.9	23.1

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	69.2
修正医業収益(千円)	651,170

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,160,005			
1 経常収益	972,144			
(1) 医業収益	689,161			
入院収益	323,830			
外来収益	260,569			
診療収入計	584,399			
その他医業収益	104,762			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	282,983			
(うち国・都道府県補助金)	46,667			
(うち他会計補助・負担金)	172,743			
(うち長期前受金戻入)	42,919			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	187,861			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,016,712			
2 経常費用	993,628			
(1) 医業費用	941,303			
職員給与費	596,729	86.6	62.1	78.9
材料費	107,799	15.6	25.3	15.6
(うち薬品費)	43,019	6.2	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	55,960	8.1	11.4	6.0
減価償却費	66,100	9.6	9.5	11.7
経費	163,075	23.7	22.7	31.2
(うち委託料)	46,934	6.8	12.6	14.3
研究研修費	2,496			
資産減耗費	5,104			
(2) 医業外費用	52,325			
(うち支払利息)	3,685	0.5	1.3	1.7
(3) 特別損失	23,084			
損益				
経常損益	-21,484			
純損益	143,293			
累積欠損金	-			
経常収支比率	97.8		101.9	100.3
医業収支比率	73.2		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	21.7		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	30.6		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	18.2		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	76.6		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	58,462,585
1 固定資産	40,264,037
(1) 有形固定資産	32,671,497
(2) 無形固定資産	561,424
(3) 投資その他の資産	7,031,116
2 流動資産	18,198,548
(1) 現金及び預金	11,999,860
(2) 未収金及び未収収益	6,053,449
(3) 貸倒引当金()	93,316
(4) 貯蔵品	234,658
3 繰延資産	-
負債合計	35,352,226
1 固定負債	21,782,625
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,822,656
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	199,520
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,709,315
(7) リース債務	3,734
2 流動負債	5,584,846
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,983,914
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	37,999
(5) 引当金	930,770
(6) リース債務	2,779
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,261,064
(9) 前受金及び前受収益	2,715
3 繰延収益	7,984,755
(1) 長期前受金	11,658,483
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,673,728
資本合計	23,110,359
1 資本金	9,794,929
2 剰余金	13,315,430
(1) 資本金剰余金	5,368,110
(2) 利益剰余金	7,947,320
負債・資本合計	58,462,585
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	82,207	210,734
資本勘定繰入	22,284	22,284
計	104,491	233,018

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				長崎県	
市町村・組合名	長崎県病院企業団				
病院名	精神医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	13,161 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	3	指定病院の状況	臨感		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	139	79.7	72.9	72.2
感染症	-	-	-	-
計	139	79.7	72.9	72.2
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	82.2
修正医業収益(千円)	1,407,657

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,056,637			
1 経常収益	1,984,798			
(1) 医業収益	1,457,158			
入院収益	1,177,306			
外来収益	200,363			
診療収入計	1,377,669			
その他医業収益	79,489			
(うち他会計負担金)	49,501			
(2) 医業外収益	527,640			
(うち国・都道府県補助金)	74,842			
(うち他会計補助・負担金)	386,919			
(うち長期前受金戻入)	58,243			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	71,839			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,766,516			
2 経常費用	1,754,618			
(1) 医業費用	1,712,362			
職員給与費	1,210,373	83.1	62.1	104.8
材料費	140,381	9.6	25.3	8.7
(うち薬品費)	123,152	8.5	13.5	6.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	16,578	1.1	11.4	1.3
減価償却費	113,616	7.8	9.5	13.5
経費	244,462	16.8	22.7	33.3
(うち委託料)	140,590	9.6	12.6	18.6
研究研修費	3,111			
資産減耗費	419			
(2) 医業外費用	42,256			
(うち支払利息)	2,028	0.1	1.3	2.7
(3) 特別損失	11,898			
損益				
経常損益	230,180			
純損益	290,121			
累積欠損金	-			
経常収支比率	113.1		101.9	101.4
医業収支比率	85.1		83.2	62.2
他会計繰入金対経常収益比率	22.0		12.3	34.2
他会計繰入金対医業収益比率	30.0		16.0	58.2
他会計繰入金対総収益比率	21.2		12.2	33.8
実質収益対経常費用比率	88.2		89.3	66.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	58,462,585
1 固定資産	40,264,037
(1) 有形固定資産	32,671,497
(2) 無形固定資産	561,424
(3) 投資その他の資産	7,031,116
2 流動資産	18,198,548
(1) 現金及び預金	11,999,860
(2) 未収金及び未収収益	6,053,449
(3) 貸倒引当金()	93,316
(4) 貯蔵品	234,658
3 繰延資産	-
負債合計	35,352,226
1 固定負債	21,782,625
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,822,656
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	199,520
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,709,315
(7) リース債務	3,734
2 流動負債	5,584,846
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,983,914
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	37,999
(5) 引当金	930,770
(6) リース債務	2,779
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,261,064
(9) 前受金及び前受収益	2,715
3 繰延収益	7,984,755
(1) 長期前受金	11,658,483
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,673,728
資本合計	23,110,359
1 資本金	9,794,929
2 剰余金	13,315,430
(1) 資本金剰余金	5,368,110
(2) 利益剰余金	7,947,320
負債・資本合計	58,462,585
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	425,191	436,420
資本勘定繰入	19,517	19,517
計	444,708	455,937

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				長崎県	
市町村・組合名	長崎県病院企業団				
病院名	島原病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	21,076 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	17	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	250	71.3	86.6	77.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	254	70.2	85.2	75.9
平均在院日数(一般病床のみ)		14.3	15.5	14.3

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.7
修正医業収支(千円)	4,866,808

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,891,297			
1 経常収益	6,499,979			
(1) 医業収益	5,001,040			
入院収益	3,529,522			
外来収益	1,255,360			
診療収入計	4,784,882			
その他医業収益	216,158			
(うち他会計負担金)	134,232			
(2) 医業外収益	1,498,939			
(うち国・都道府県補助金)	991,798			
(うち他会計補助・負担金)	342,006			
(うち長期前受金戻入)	150,281			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,391,318			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,858,146			
2 経常費用	5,749,954			
(1) 医業費用	5,424,042			
職員給与費	2,887,708	57.7	62.1	66.1
材料費	1,139,664	22.8	25.3	19.8
(うち薬品費)	662,502	13.2	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	475,348	9.5	11.4	9.3
減価償却費	396,649	7.9	9.5	10.2
経費	982,240	19.6	22.7	28.2
(うち委託料)	517,353	10.3	12.6	13.6
研究研修費	10,342			
資産減耗費	7,439			
(2) 医業外費用	325,912			
(うち支払利息)	83,539	1.7	1.3	1.6
(3) 特別損失	108,192			
損益				
経常損益	750,025			
純損益	2,033,151			
累積欠損金	-			
経常収支比率	113.0		101.9	99.9
医業収支比率	92.2		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	7.3		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	9.5		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	6.0		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	104.8		89.3	86.6

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	58,462,585
1 固定資産	40,264,037
(1) 有形固定資産	32,671,497
(2) 無形固定資産	561,424
(3) 投資その他の資産	7,031,116
2 流動資産	18,198,548
(1) 現金及び預金	11,999,860
(2) 未収金及び未収収益	6,053,449
(3) 貸倒引当金()	93,316
(4) 貯蔵品	234,658
3 繰延資産	-
負債合計	35,352,226
1 固定負債	21,782,625
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,822,656
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	199,520
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,709,315
(7) リース債務	3,734
2 流動負債	5,584,846
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,983,914
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	37,999
(5) 引当金	930,770
(6) リース債務	2,779
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,261,064
(9) 前受金及び前受収益	2,715
3 繰延収益	7,984,755
(1) 長期前受金	11,658,483
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,673,728
資本合計	23,110,359
1 資本金	9,794,929
2 剰余金	13,315,430
(1) 資本剰余金	5,368,110
(2) 利益剰余金	7,947,320
負債・資本合計	58,462,585
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	447,383	476,238
資本勘定繰入	384,526	461,591
計	831,909	937,829

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				長崎県	
市町村・組合名	長崎県病院企業団				
病院名	吉岐病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	12,290 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	17	指定病院の状況	救 感 災 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	120	85.7	97.1	97.2
療養	48	87.6	91.6	94.2
結核	6	6.6	7.5	3.3
精神	50	-	-	-
感染症	4	23.8	-	-
計	228	64.1	70.6	71.1
平均在院日数(一般病床のみ)		23.0	17.3	18.0

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.7
修正医業収支(千円)	2,933,396

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,594,623			
1 経常収益	4,092,017			
(1) 医業収益	2,976,478			
入院収益	1,917,164			
外来収益	842,210			
診療収入計	2,759,374			
その他医業収益	217,104			
(うち他会計負担金)	43,082			
(2) 医業外収益	1,115,539			
(うち国・都道府県補助金)	516,466			
(うち他会計補助・負担金)	470,173			
(うち長期前受金戻入)	112,212			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	502,606			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,715,709			
2 経常費用	3,632,413			
(1) 医業費用	3,464,200			
職員給与費	1,720,194	57.8	62.1	66.1
材料費	673,597	22.6	25.3	19.8
(うち薬品費)	286,439	9.6	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	352,382	11.8	11.4	9.3
減価償却費	290,014	9.7	9.5	10.2
経費	769,304	25.8	22.7	28.2
(うち委託料)	268,184	9.0	12.6	13.6
研究研修費	6,925			
資産減耗費	4,166			
(2) 医業外費用	168,213			
(うち支払利息)	48,239	1.6	1.3	1.6
(3) 特別損失	83,296			
損益				
経常損益	459,604			
純損益	878,914			
累積欠損金	-			
経常収支比率	112.7		101.9	99.9
医業収支比率	85.9		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	12.5		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	17.2		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	11.2		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	98.5		89.3	86.6

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	58,462,585
1 固定資産	40,264,037
(1) 有形固定資産	32,671,497
(2) 無形固定資産	561,424
(3) 投資その他の資産	7,031,116
2 流動資産	18,198,548
(1) 現金及び預金	11,999,860
(2) 未収金及び未収収益	6,053,449
(3) 貸倒引当金()	93,316
(4) 貯蔵品	234,658
3 繰延資産	-
負債合計	35,352,226
1 固定負債	21,782,625
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,822,656
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	199,520
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,709,315
(7) リース債務	3,734
2 流動負債	5,584,846
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,983,914
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	37,999
(5) 引当金	930,770
(6) リース債務	2,779
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,261,064
(9) 前受金及び前受収益	2,715
3 繰延収益	7,984,755
(1) 長期前受金	11,658,483
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,673,728
資本合計	23,110,359
1 資本金	9,794,929
2 剰余金	13,315,430
(1) 資本剰余金	5,368,110
(2) 利益剰余金	7,947,320
負債・資本合計	58,462,585
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	262,903	513,255
資本勘定繰入	121,492	154,808
計	384,395	668,063

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				長崎県	
市町村・組合名	長崎県病院企業団				
病院名	対馬病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透末訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	19,812 m ²	不採算地区中核病院	第1種該当		
診療科数	25	指定病院の状況	救臨が感へ災輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	222	77.8	80.1	74.2
療養	-	-	-	-
結核	4	3.5	8.2	11.8
精神	45	69.8	81.2	81.3
感染症	4	11.0	-	-
計	275	74.4	78.1	73.4
平均在院日数(一般病床のみ)		17.4	16.6	15.6

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	83.8
修正医業収支(千円)	4,849,369

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,708,354			
1 経常収益	6,030,785			
(1) 医業収益	4,889,057			
入院収益	3,024,355			
外来収益	1,453,828			
診療収入計	4,478,183			
その他医業収益	410,874			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	1,141,728			
(うち国・都道府県補助金)	209,355			
(うち他会計補助・負担金)	678,210			
(うち長期前受金戻入)	200,455			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	677,569			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,230,020			
2 経常費用	6,039,721			
(1) 医業費用	5,783,766			
職員給与費	3,262,192	66.7	62.1	66.1
材料費	1,042,904	21.3	25.3	19.8
(うち薬品費)	371,199	7.6	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	619,954	12.7	11.4	9.3
減価償却費	676,959	13.8	9.5	10.2
経費	785,557	16.1	22.7	28.2
(うち委託料)	369,474	7.6	12.6	13.6
研究研修費	10,922			
資産減耗費	5,232			
(2) 医業外費用	255,955			
(うち支払利息)	41,679	0.9	1.3	1.6
(3) 特別損失	190,299			
損益				
経常損益	-8,936			
純損益	478,334			
累積欠損金	1,266,257			
経常収支比率	99.9		101.9	99.9
医業収支比率	84.5		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	11.9		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	14.7		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	10.7		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	88.0		89.3	86.6

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	58,462,585
1 固定資産	40,264,037
(1) 有形固定資産	32,671,497
(2) 無形固定資産	561,424
(3) 投資その他の資産	7,031,116
2 流動資産	18,198,548
(1) 現金及び預金	11,999,860
(2) 未収金及び未収収益	6,053,449
(3) 貸倒引当金()	93,316
(4) 貯蔵品	234,658
3 繰延資産	-
負債合計	35,352,226
1 固定負債	21,782,625
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,822,656
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	199,520
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,709,315
(7) リース債務	3,734
2 流動負債	5,584,846
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,983,914
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	37,999
(5) 引当金	930,770
(6) リース債務	2,779
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,261,064
(9) 前受金及び前受収益	2,715
3 繰延収益	7,984,755
(1) 長期前受金	11,658,483
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,673,728
資本合計	23,110,359
1 資本金	9,794,929
2 剰余金	13,315,430
(1) 資本剰余金	5,368,110
(2) 利益剰余金	7,947,320
負債・資本合計	58,462,585
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	694,422	717,898
資本勘定繰入	118,488	149,471
計	812,910	867,369

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。